

1.指導概要

教 科		科 目		
国語		言語文化	単位数： 2 単位	
指導目標： 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
メディア視聴	事情に応じて許可（東京書籍） ①視聴講座を 100%視聴 ②確認テストクリア	60%	教科書	東京書籍「新編 言語文化」
スクーリング	1 単位時間×2 回	合格時間数 2 時間以上	学習図書	自校作成の教材資料を使用
レポート	全 6 回	合格枚数 6 枚	副教材	なし
試験	あり	試験評価割合 70%	評 定	100 点法 5 段階評定
回	高校通信教育講座 （単元・学習内容）		レポート （締切期日）	スクーリング （日程と内容）
No.1	さくらさくらさくら 「美しい」ということ とんかつ 雨漏りの音	第 1 回 (4/30)	第 1 回	【さくらさくら】 ※第一段における要点がどの部分に示されているかを考え、それが本文全体でどのような意味を持つか考察する。 ※具体例から日本と外国での桜に対する感じ方や考え方の違いを理解する。 ※短歌の内容と詠まれた心情についての考察を踏まえて、筆者の桜への思いを整理する。 ※進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。
No.2	柳あおめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た 少年の日 I was born	第 2 回 (5/30)		
No.3	羅生門 夢十夜 デューク	第 3 回 (6/30)	第 2 回	【徒然草 今日はそのことをなさんと思へど】 ※話のあらすじを読み取る。 ※本文を現代語に訳し、主旨を理解する。 ※作者の考え方について理解する。 ※『徒然草』や作者について、知識を深める。
No.4	徒然草 枕草子 折々のうた	第 4 回 (7/30)		
No.5	伊勢物語	第 5 回		

	平家物語 奥の細道	(8/30)		※古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。
No.6	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話	第6回 (9/30) 提出期限 (11/30) ※提出予備日 (1/15)		※古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。

2 評価の観点

知識・技能	テストの結果で評価します。
思考・判断・表現	レポートの最終問題で評価します。
主体的に学習に取り組む態度	スクーリング時に取り組む姿勢や、成果物で判断します。 ※メディア視聴の成果もこの観点で評価します。

3 評価の方法

上記の観点に基づき、年度末に 5 段階で評定を出します。 【知識・技能】 テスト結果 (7 割) 【思考・判断・表現】 レポート最終問題(2 割) 【主体的な態度】 スクーリングの時の成果物 (1 割)
--

4 担当者からのメッセージ

スクーリングへの出席（取り組む姿勢）、レポートの提出（レポートの内容）、試験結果を総合的に判断し、評価します。面接指導だけで教科書の全範囲を解説することは難しく、説明のスピードも速くなります。教科書を読み、各回の範囲を予習し、レポートをできるだけ完成させた上で面接指導にのぞむことを推奨します。分からないところは教科担任に聞くのもいいでしょう。色んな本を読むことをお勧めします。